

虹の大樹

JAさっぽろコミュニケーションマガジン
「にじのたいじゅ」

2023年
2月号
NO.293

協同組合という
虹のもと、
大都市に深く
根を張りそびえる
大樹のような
JAで
ありたい——

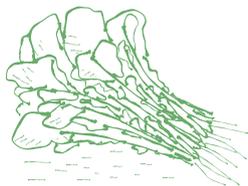


今月の特集
第2回
地区別懇談会Q&A

真冬のハウスで山末清さん(西町地区組合員)が大根菜を収穫
Photo by SOGA Takahiro

虹の大樹

2023年 2月号 NO.293



03 | 特集

第2回

地区別懇談会Q&A

08 | 女性の集い

3年振りにJAさつぽろ女性部員が一堂に集結しました

10 | アラカルト 《組合員の活動をご紹介》

15 | 不動産プラザ

令和5年4月27日から
相続土地国庫帰属制度が
スタートします！

16 | 伝言板 《JAからのお知らせ》

19 | クロスワードパズル / お便りの樹



Photo by 曾我 孝博
2020年からフリーランスのフォトグラファーとして主に札幌市内で活動。今年度の「虹の大樹」表紙写真の撮影を担当します。



■ 今月の表紙

真冬のぽかぽかハウスで育つ大根菜
ひとつひとつ丁寧な収穫

雪が降りしきる氷点下4℃の極寒の中、西区西野の山末清さん・学さん（西町地区組合員）親子のハウスでは、大根菜の収穫が行なわれていた。加温ハウスの中はぽかぽかと暖かく、外とはまるで別世界。しかしこの温度を保つための燃料は価格の高騰が続いており、負担は大きいと学さんは話す。

「熱を逃がさないようにハウスのビニールを三重にしているけれど冬の農業は灯油代がかさむ。大雪になると除雪にも時間がかかって収穫が遅れちゃうし大変なんだよ。それでも作り続けるのは、食べたいと待っていてくれる人がいるからかな」

青々と育った大根菜を、家族4人で収穫。葉の一枚一枚についた水滴や土をきれいに拭き取り、根を切りそろえて袋詰めという丁寧な作業について見入ってしまう。「土が付いているとお客さんが嫌がるから必ず拭き取って、形も揃える。冬は苦勞も多いけど、虫がいなくて農薬をほぼ使わずに済むし、温度管理することで収穫時期を調整できるのは良いところかな」

冬に稼働するハウスは9棟。管理は徹底しているが、60年以上農業を続けている清さんでも百点だったことはないという。

「作物は正直。手抜きをしたらそれだけの物しかできないし、失敗したと思った時にはもう遅い。同じ失敗をしないように振り返るけど、農業はいつも一年生。上には上があるんだよね」

市内でも数少ない真冬のハウス栽培に取り組み、技術を磨く清さんと学さん。冬の大根菜の出荷は、4月頃まで続く。
(2023年1月16日 取材)

令和4年度 第2回地区別懇談会 Q & A

11月21日（月）から25日（金）（23日を除く）にかけ、全12地区で地区別懇談会を開催いたしました。各懇談会には、常勤役員および参事・各室部長が2班に分かれて出席し、令和4年度の仮決算事業報告を行なった後、ご出席いただいた組合員の皆さまより貴重なご意見・ご質問をいただきました。

経営企画部門

Q 発寒支店が閉店になった事に伴う影響について教えてください。

（琴似地区）

A 発寒支店の貯金残高については9月末時点で期首より4億7千万円減少しております。口座数も10月末現在で125件程度減少しております。

す。共済事業については、現在のところ統合による影響は無いと考えております。

Q 支店統合が完了した段階で検証を行い、JAの経営基盤がどのようにになったのか組合員に報告すべきだと思いますが、どのように考えていますか。

（琴似地区）

A 現在、JAいしかりとの合

併を取り進めておりますが、支店再編、経済センターの合理化の効果について、部門別に分解し、合併前のJAさっぽろ単体の数値と比較検証できるかどうか検討してまいります。

Q 支店統合に関し、今まで赤字を出したことがない支店が閉鎖されてしまう。組合員あつてのJAなのか、それともJAあつての組

合員なのか。どのように考えているのですか。

（白石地区）

A 当然ながら組合員の皆さまあつてのJAであります。今回金融環境が厳しく、赤字を抱え





北札幌地区

てしてしまうと組合員皆さまへのサービスを維持する事が困難になる事から支店統合という苦渋の判断となりました。統合後もこれまで以上に体制強化を行ってまいりますので、ご理解いただければと思います。

総務部門

Q 学識経験者とは、どのような人が就くのですか。また、経営健全化のために、学識経験理事を外部から登用すれば良いのではないですか。
(白石地区)

A 学識経験理事については、組合の日常業務全般を統括管理し、また、業務を執行する必要があるため、部長職等を経験した組合業務に精通した者を登用しております。また、執行体制を監視する常勤監事は、北海道中央会からの推薦を受けて、外部目線で監査を行っております。

金融部門

Q 他金融機関のATMでも通帳記帳ができるようにして欲しい。
(新琴似地区)

A 当JA単独で取り組む事は

難しく、系統であります農林中央金庫段階での取り組みとなります。貴重なご意見として承ります。なお、JAネットバンク、JAバンクアプリでは、取引明細が即時確認できますので、ぜひご活用ください。

相談部門

Q 相談事業の新たな貸貸管理体制について、厚別等の拠点と支店相談課の業務すみ分け等の内容を説明してほしい。
(白石・豊平地区)

A 賃貸物件の管理について、入居者からの問い合わせや業者との連絡等の賃貸管理業務体制を本店と厚別支店の2拠点に集約いたします。メリットとしては、今まで支店に配置していた職員を各拠点に集結させる事によりフォロー体制が整います。また、当JAの管理担当職員を育成する観点から、JA職員と

子会社職員が一緒に管理業務を行う事で、専門的な知識を実践で習得できるといった事が挙げられます。

これにより、組合員の皆さまへより質の高いサービスが出来るものと考えております。なお、支店相談課の体制については変更ございません。

経済部門

Q 肥料価格の高騰により、肥料代が倍以上となっています。国の補助はありますが、支払が令和5年10月から11月になると聞いています。JA独自の助成、補助を検討してほしいと思います。
(厚別地区)

A 令和4年6月から肥料価格が前年比78・5%値上がりしています。まずは北海道の補助事業「化学肥料購入支援金給付事業」、年明けから国の補助事業「肥料価格高騰対策事業」が実

施される予定であり、これら事業を滞りなく該当組合員へお届けする事を一番に考えております。その上で、当JA独自の高騰支援対策を検討し、組合員皆さまに少しでも負担軽減となるよう協議を進めてまいります。

Q 土壌分析について、資料中にpH（ペーハー）は別となっておりますが、どういう事ですか。また土壌分析は何項目くらい計測できるのですか。（南地区）

A これまで土壌診断については、支援センターやホクレンに依頼していましたが、結果がわかるまで時間がかかる事もあり、簡易型ですが当JAで土壌分析装置を導入しました。またpH測定については既に所有している簡易pH測定器での測定を行っています。なお、現在導入した土壌診断装置は、6項目ほど計測可能です。
※pH（ペーハー）とは、土が

酸性かアルカリ性かの程度を表す指標

合併関係

Q JAいしかりのガソリンスタンドについて、合併後どうしていくのですか。（中央・手稲地区）

A 現在のJAいしかりのガソリンスタンド（2カ所）の事業総利益はプラスであり、当の間は継続していく予定です。

Q 石狩管内には5つのJAがある中、JAいしかりとだけ合併する理由を教えてください。（新琴似地区）

A 過去には、JAいしかり、JA北いしかり、JA新しのつ3JA間での合併構想がありましたが、合併には至りませんでした。その後、JAいしかり側

から当JAとの事業連携を見据えた話し合いが進み現在に至っております。

Q 合併後、石狩八幡支店は廃止となり石狩花畔支店だけになるのであれば、石狩支店で良いのではないのでしょうか。（新琴似地区）

A 石狩の2支店の名称については、既にJAいしかりの理事会で承認されており、JAいしかり側からの要望でもありません。石狩八幡支店は合併後金融窓口のみ廃止し、営農経済部門は引き続き残る事となります。

Q 合併後の「定款の地区」の欄で、小樽市銭函や余市町黒川地区等の札幌や石狩以外の地区が範囲となっているのは何故ですか。（新琴似・南地区）

A 札幌市や石狩市以外の地区については、元々JAさっぽろ

の定款における地区でありませぬ。札幌市内で営農していた組合員が札幌市外に移転した後も組合員として残りたいという意向を受け、地区に追加した経緯があり、現在もそのまま事業を利用させていただいております。



平岸地区



手稲地区

Q 合併後、営農経済センターが2カ所となり、現在よりも距離が遠くなる組合員もいますので一層営農渉外担当者の体制を強化してほしい。
(新琴似地区)

A 今後は営農渉外係として担当地区を決め、組合員宅を訪問していく事となります。営農経済センターは丘珠と八幡の2拠点となり、現在の業務形態とは異なる部分が出てきますが、両拠点ともまずは今まで通り業務活動をし、合併による合理化、効率化を図ってまいります。

Q 合併した場合の総合収支は出ているのですか。(琴似地区)

A 令和5年1月開催の地区別懇談会において令和6年度から8年度までの3カ年の総合収支をお示ししております。

Q 常勤役員の正組合員全戸訪問時に、合併についての意見はありましたか。(白石地区)

A 全戸訪問はまだ完了しておりませんが、JAいしかりの施設の事や農業振興を図る事がで

きるのかといったご意見を頂戴しております。

Q 合併した時に地区が広範囲となりますが、組合員が満足できる経営ができるのですか。(白石地区)

A 現在のJAさつぽろの地区から変更となるところは、これまで除かれていた石狩市厚田区と浜益区が加わる事となります。石狩市厚田区と浜益区の組合員の皆さまは既にJAいしかりの米麦乾燥調製施設を利用しており、今後JAさつぽろの地区が広がる事により事業運営が困難になるといふ事はございません。

Q 債権・債務の内、Ⅲ・Ⅳ分類債権について全額償却できない場合、どのように対応するのですか。(白石・南地区)

A 貸出金については、北海道中央会、北海道信連において財務確認しており、現時点においては問題ないと報告を受けております。



白石地区

Q 合併推進委員会はどのようなメンバーのですか。(篠路地区)

A 両JAの常勤役員全員と非常勤役員数名で構成されています。

Q 合併に伴い、各事業で懸念事項として挙げられている項目はありますか。(手稲地区)

A 信用事業に関しては、クミカンの金利の相違等ありますが、基本的に当JAに合わせるといふ方向で進んでおります。

● 共済事業に関しては、共済掛金の経理処理に若干相違する部分があるため、現在統一化を図っているところです。

● 相談事業に関しては、特に懸念事項はありません。

● 経済事業に関しては、購買・販売の手数料の統一や、施設の使用料等の統一が挙げられ

ます。

● 管理部門に関しては、人事面特に職員の給与面にかかる調整等の作業が必要であり、この部分が懸念事項の一つとして挙げられます。



西町地区

Q 現在、当地区で生産したホウレン草は「ポーラスター」の商標で出荷しているが、合併後、石狩産のホウレン草について、石狩産として出荷するのですか。それとも「ポーラスター」として出荷するのですか。(豊平地区)

A それぞれの地域で使用しているブランド名については、そのまま使用する事で考えております。将来的には検討すべき項目ではあると思いますが、今すぐに石狩産のホウレン草を「ポーラスター」として出荷するといった事はございません。

Q JAいしかりの組合員数を教えてください。(西町地区)

A 令和4年4月時点で、正組合員が495名、准組合員が2,885名であります。

Q 定款の出資口数の最高限度を

4,500口、現在のJAいしかりの定款に合わせるという事ですが、JAいしかりの組合員で4,500口に到達している人数は把握しているのですか。(西町地区)

A 全員で20名であると聞いております。

※プライバシーに関する質問や、過去同様のご質問につきましては割愛させていただきますのでご了承ください。



第22回 女性の集い

3年振りに

JAさっぽろ女性部員が

一堂に集結しました



12月5日(月)、JAさっぽろ女性部(菅原利恵部長)では、「第22回JAさっぽろ女性の集い」を札幌グランドホテルで開催し、女性部員・役員員合わせて131名が参加しました。

コロナ禍前はチャリティーオークションや芸能発表など1泊2日で行なわれていた女性の集い。3年振りとなる今回は新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、日帰りの新しい様式で行なわれました。今回のプログラムは料理研究家星澤幸子先生による講演をはじめ、手作り作品展、お楽しみ抽選会と盛りだくさん。久しぶりに交流できる機会とあって、参加された皆さんは笑顔いっぱいでした。

菅原部長は、「部員同士が絆を深めることを目指して、本部三役・本部役員を中心に何度も打合せを重ねました。3年間止まってしまっていた女性の集いが、今日このようにして開催できたことを大変嬉しく思います。」と話していました。



夕方の情報番組

「どさんこワイド179」

(STV札幌テレビ放送)でおなじみ

料理研究家の

星澤幸子先生に

講演をいただきました

テーマは、星澤先生のスローガンでもある「身土不二(地元の食材を食すことで健康に過ごすことができるという意味)」。長年の経験から培った食材の味を最も活かす食べ方や、ご自身のお料理コーナーで札幌産の野菜を使用したときのエピソードを交えたお話に、女性部の皆さんは熱心に耳を傾けていました。



講演中に、五分つき米と干し野菜などを使った炊き込みご飯を調理



炊きあがったご飯に味噌汁と漬物を添えて、簡単に一食が完成!

部員同士が顔を合わせて絆を紡ぐ



女性部といえば手作り品！作る人も見る人も、この日を楽しみにしていました



たくさんのお手作りの品が会場に彩りを添えました
 手作り品展示コーナーには、女性部員が手作りした梅漬けや、ペットボトルとクラフトテープで作ったランプシェードなど、豊富な経験から生み出された品々が並びました。アイデア光る作品の数々を、会場の皆さんは興味津々に見入っていました。



料理長にもご参加いただき会場は大いに盛り上がりました。

抽選会の景品には、女性部員の手作り品を詰め合わせた女性部賞の他、青年部から生産物を使った加工品の詰め合わせの提供など、6つの賞金24本を用意。星澤先生や札幌グランドホテル伊藤博之総料理長にもご

お楽しみ抽選会も大盛況でした

11月の准組合員コンベンションでも好評を博した二品が登場。女性部の皆さんにも味わっていただきました。



右：札幌黄（玉ねぎ）と小林牧場のチーズを使用した「オニオングラタンスープ」
 左：札幌白ゴボウと南区滝野産マークインを使った2種類のパン

星澤先生と記念写真を撮影！

星澤幸子賞が当たった部員さんが所属する支部は、星澤先生と記念撮影する権利を獲得！思い出に残りますね♪

北札幌支部の皆さん



札幌グランドホテル賞は伊藤総料理長が抽選！赤いラベルでお馴染みのスープ缶セットに当選者は大喜びでした



青年部賞は、今村副部長に抽選を行っていただきました



南支部の皆さん

アラカルト

組合員さんの
活動を紹介します！



札幌市職員共済組合×オフィスキュー 共同制作

野菜摂取強化に向けた

配信動画に

青年部員とご家族が

再び撮影協力しました！



JAさっぽろ青年部（大畑一郎部長）では、札幌市職員共済組合がクリエイティブオフィスキューと取り組む、野菜摂取強化を目的とした野菜料理動画の制作に撮影協力を行いました。この動画は、札幌市が職員向けに行なう野菜摂取強化事業の一つとして、「TEAMNACS」のリーダー・森崎博之さんや、ポイズユニット「NORD」が登場しながら野菜をふんだんに使用したメニューを発信するというもの。当JA青年部では、昨年夏に制作された動画では、にんにく・なす・ズッキーニ・ミニトマトを使用した動画に4名の青年部員が協力。今回は、小松菜・レタス・かぼちゃ・札幌黄（玉ねぎ）を使用した動画に部員やご家族が出演し、多くの野菜が札幌で生産されていることをPRしました。

青年部では、今後も各企業や自治体と連携しながら、札幌の農業PRを展開していきます。



南支部 今村哲平さん（右）とNORD 瀧原光さん（左）



篠路支部 木田和良さん（右）とNORD 島太星さん（左）



篠路支部 武田慈喜さん（右）とNORD 舟木健さん（左）



篠路支部 熊木大輔さんの奥様ひとみさん（左）とNORD 安保卓城さん（右）



女性部×みなみの杜高等支援学校

女性部オリジナルレシピ

ヤーコンの漬物が完成！

12月12日（月）、JAさっぽろ女性部（菅原利恵部長）では、市立みなみの杜高等支援学校と連携し、女性部員による第2回漬物講座を同校のカフェ厨房にて実施しました。

この取り組みは、女性部員が講師を務めながら生徒とともにオリジナルの漬物を考案し、その漬物を同校生徒が調理・接客を行ない運営する「杜cafe」で提供することを目指して今年度初めて実施されました。昨年9月の第1回講座では、生徒と女性部がどのような漬物を作りたいかをディスカッション。その時の多彩なアイデアをもとに女性部員が試行錯誤を重ね、ヤーコンを使った3種類の漬物レシピを考案しました。

今回の講座では、女性部員が材料の切り方や調味料の配合などを生徒に伝え、調理実習を実施。長期間の保存ができるよう塩で下漬け後に本漬けを行なう「ヤーコンの味噌漬け」、下漬け不要で簡単な「ヤーコンのなまくら漬け」、角切りにしたヤーコンと生姜、玉ねぎ



ぎなどをオリブオイルや醤油などと混ぜ合わせる「ヤーコンのドレッシング和え」の3種類を完成させました。また



女性部員が先生となり、生徒さんがヤーコンの漬物を調理

講座終了後には、女性部員が札幌伝統野菜である「札幌黄（玉ねぎ）」や「札幌白ゴボウ」、「古川ポーク（豚肉）」など札幌産の食材8品目を使用した特製豚汁を生徒たちに振る舞いました。菅原部長は「真剣に取り組む生徒さんの姿に感動しました。今後も一緒に活動をしていきたいです」と話していました。

今回女性部がレシピの考案に協力したヤーコンの漬物は、「杜cafe」でカレーライスの付け合わせとして1月19日（木）から提供されています。



「杜cafe」で提供されたヤーコンのなまくら漬け



「杜cafe」の営業日等は
こちらからご確認ください。

JAさっぽろ女性部

JA介護教室で

介護の大切さを学びました

12月16日（金）、JA北海道厚生連と中央会札幌支所が主催する石狩管内「家庭介護教室」が本店役員室を会場にオンライン形式で開催され、JAさっぽろ女性部から菅原利恵部長をはじめ6名が参加しました。

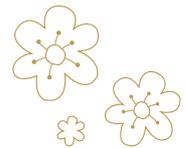
コロナ禍以前は毎年の恒例行事で、札幌厚生病院を会場に実演を交えた講習が行なわれていたが、前回に続き今回は座学のための講習となりました。今回の講習ではJA北海道の厚生連の職員が講師をつとめ、認知症の理解を深めることの必要性や介護予防・介護支援について解説を受けました。参加した皆さんは、誰しもが携わる可能性のある介護を学ぶことの大切さを感じ、熱心に耳をかたむけていました。



オンライン会議アプリ ZOOM を活用して実施されました



萩中昭夫さん、荒木徹也さんが 札幌市優良農業者表彰を 受賞しました



1月16日(月)、札幌市役所にて令和4年度札幌市優良農業者等表彰式が行なわれ、新琴似地区組合員の萩中昭夫さんと北札幌地区組合員の荒木徹也さんがそれぞれ受賞しました。

本表彰制度は、札幌市が農業の振興を奨励し、かつ市内において農業者の資質向上を図るため、他の模範になる業績を上げた農業者等に対し行なうもの。

萩中さんは、酪農家として良質な粗飼料の生成に取り組みながら年間を通して高品質な生乳生産を行っており、今年酪農歴40年目の節目を迎えました。当JAの酪農畜産部会の部長やサツラク農協では理事を長年務めるなど、地域農業者のリーダー的存在として札幌の酪農の発展に尽力していることなどが評価されました。

また、荒木さんは、トマトを中心に多品目の野菜や苗物の生産を行っており、新品種や新技術を積極的に取り入れています。その普及・発展への取り組みは他の模範となっており、当JAそ菜部会北札幌支部の支部長を務めるなど、地域農業者の若きリーダーとして札幌の農業を支えている点などが評価されました。

表彰式では、軽部幹夫組合長らが見守る中、秋元克広札幌市長から表彰状と記念品がそれぞれ手渡されました。今回の受賞を受け、萩中さんは、「資材・飼料の高騰もあり苦労も多いが、しっかりと牛と向き合い、次の世代に引き継ぎたい」、荒木さんは、「気候の変化や消費者の要望に合わせながら、これからも顔の見える形での生産活動に努めた」と話していました。



(前列左から) 萩中さん、秋元札幌市長、荒木さん
(後列左から) 田中経済観光局長、サツラク農協 長濱秀人組合長、
軽部組合長、高田札幌市農政部長



表彰状を授与される萩中さん



表彰状を授与される荒木さん

北海道神宮新嘗祭 道産野菜をたくさん積み込んだ 宝船を献上しました



参列した軽部組合長（左）と吉田支店長（右）

中央支店では、11月23日（水・祝）勤労感謝の日に行なわれた北海道神宮の新嘗祭に2艘の宝船を献上しました。

宝船はそれぞれ「繁栄丸」「豊作丸」と名付けられ、北海道内で収穫された農産物をふんだんに使用し、新嘗祭の前日に同支店職員が制作しています。当日の北海道神宮は新嘗



本殿入口に飾られた豊作丸（左）と繁栄丸（右）

祭の参列者や一般参拝者で賑わっており、本殿入口に飾られたひとときを引く宝船は注目を集めていました。

なお新嘗祭には、当JAから軽部幹夫組合長と吉田利徳中央統括支店長が参列し、収穫への感謝と農業の繁栄を祈願しました。

女性部北札幌支部

両手いっぱいのお土産に 大満足の日帰り研修

10月6日（木）、女性部北札幌支部（土谷眞理子支部長）では、部員15名が参加し、白老方面への日帰り研修旅行を実施しました。この日帰り研修は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い支部活動を自粛していたことから、約3年ぶりの実施です。

今回は、民族共生象

徴空間「ウポポイ」にて博物館や伝統芸能を鑑賞し、白老にある徳寿ファームレストランKANTOで昼食を堪能。その後、新鮮な卵や卵を使ったスイーツを販売する「マザーズプラス」、たらの詰め放題でお馴染みの「大漁番屋 虎杖浜」に立ち寄り、皆さん両手に沢山のお土産を抱え、大満足のご様子でした。久々に部員が勢揃いし、笑顔いっぱいの研修旅行となりました。（池田特派員）



久しぶりの支部活動を楽しんだ北札幌支部の皆さん

女性部篠路支部

今年もおいしくできますように！
毎年恒例、味噌づくり



味噌づくりに参加した篠路支部のみなさん

女性部篠路支部（嶋知子支部長）では、11月16日（水）、18日（金）の2日間で8名が参加し、さとらんどにて毎年恒例の味噌づくりを行いました。この味噌づくりは、篠路支部が20年ほど前から始めた恒例行事。今回も、5kgの大豆を茹でて作る白味噌か、蒸して作る赤味噌かを好みに合わせて選び作業を開始しました。部員の皆さんの中では豆の味がしつかりする赤味噌が大人気！手慣れた様子で作業を進めていました。前日に大豆を水につけるところ



から始まる味噌づくり。当日は「1時間から1時間半ほど蒸す（大豆を親指と小指で潰せるようになるまで）↓「ミキサーで大豆を潰して70度になるまで冷ます」↓「麴、塩、前年度の味噌を入れて混ぜる」↓「樽に入れる」の工程を行ない、約15kgの味噌を仕込みました。

コロナ禍前は、前年に作った味噌を使った豚汁を食べて交流を深めていましたが、落ち着くまでしばらくおあずけ。今回仕込んだお味噌は涼しいところで保管し、6カ月ほどで食べられるようになるよとのことです。



水で戻した大豆を布巾に並べ蒸す準備

女性部厚別支部

たくさん笑って健やかに
落語鑑賞と座談会を開催

12月12日（月）、女性部厚別支部（金子嬉代子支部長）では、厚別支部会議室にて落語鑑賞と座談会を行いました。

コロナ禍前までは「J.Aまつり」の振り返りや次年度の活動について話す場となっていたこの座談会。今回は楽しい雰囲気で部員の皆さんが集まれる場を作ろうと、道内各地で多くの公演を行なう落語家・笑生（おはこ）十八番さんをお招きし、落語鑑賞を行ないました。笑生十八番さんは、



縁起の良い言葉を色紙にしたため、先着5名にプレゼント。もらうことができた部員さんは満面の笑顔

軽快な語り口で開始早々から部員の皆さんの心をつかむと、その後古典落語（お蕎麦をすすする話等）も披露。古典落語の後には、部員の皆さんの身近な話題や共通の話題から話を展開する場面もあり、会場は笑いとは一体感に包まれました。予定していた時間があつという間に感じるほど大満足の落語鑑賞に、部員の皆さんからは次回も是非来てほしいとのリクエスト。落語鑑賞終了後には、部員同士の座談会も行ない交流を深めました。

厚別支部では、コロナ禍でも可能な取り組みを今後も企画し活動を行なっていく予定です。（北林特派員）



健康に日々を過ごすために「笑う」ことがいかに大切かを教えてくれた笑生十八番さん

令和5年4月27日から

相続土地国庫帰属制度が スタートします！

都市部への人口移動や人口の減少、高齢化の進展などを背景に、相続した土地について「遠くに住んでいて利用する予定が無い」、「管理の必要性は感じるが、負担が大きい」などの理由により、土地を手放したいというニーズが高まっており、このような土地が所有者不明土地の予備軍となっているとも言われています。そこで、所有者不明土地の発生予防の観点から、土地を手放して国庫に帰属させることを可能とする制度が創設されました。令和3年7月号の「虹の大樹」で所有者不明土地関連法案の成立についてお知らせしましたが、本号では12月号に続く第2弾として、令和5年4月27日からスタートする「相続土地国庫帰属制度」について

解説します。

申請者について

基本的に、**相続や遺贈によって土地の所有権を取得した相続人**であれば、申請可能です。

制度の開始前に土地を相続した方でも申請することができませんが、売買等によって任意に土地を取得した方や法人は対象になりません。相続等により、土地の共有持分を取得した共有者は、共有者の全員が共同して申請を行なうことによって、本制度を活用することができます。土地の共有持分を相続等以外の原因により取得した共有者（例：売買により共有持分を取得した共有者）がいる場合であっても、相続等により共有持分を取得した共有者がいるとき

は、共有者の全員が共同して申請を行なうことによって、本制度を活用することができます。

対象となる

土地について

次のような**通常の管理又は処分をするに当たって過大な費用や労力が必要となる土地**については**対象外**となります。（詳細は政令で定められています）

（国庫帰属が認められない土地の主な例）

- ・建物、工作物、車両等がある土地
- ・土壌汚染や埋設物がある土地
- ・危険な崖がある土地
- ・境界が明らかでない土地
- ・担保権などの権利が設定されている土地
- ・通路など他人による使用が予定される土地

費用について

申請時に**審査手数料**を納付いただくほか、国庫への帰属について承認を受けた場合には、**負担金**（10年分の土地管理費相当

額）を納付いただく必要があります。（具体的な金額や算定方法は政令で定められています）

今回の記事は、法務省のホームページから制度の概要が記載されたパンフレット等を抜粋し紹介しています。制度の概要など詳細については、法務省ホームページ等により改めてご確認ください。相談部では今後も組合員の皆さまのお役に立つ情報の発信を続けていきます。

よろずサポーターは、
組合員皆さまのより身近なパートナーとして
様々な相談に対応しています。



「肥料価格高騰対策事業」(国事業)の

説明会について

本誌11月号にてお知らせしておりました国事業の「肥料価格高騰対策事業」の説明会について、当初1月中の開催を予定しておりましたが、現在関係機関と協議を重ねております。組合員の皆さまには、詳細が決まり次第改めてご案内いたしますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

【右記に関するお問い合わせ】

経済部営農課 TEL.. 011-782-8130

理事会だより

第8回定例理事会

令和4年11月29日(火)午後1時00分より
本店・統括支店 各会議室(Web会議方式)において第8回定例理事会が開催された。

●監事会報告事項

1、令和4年度仮決算監事監査報告

●協議事項

1、『(定款附属書の1)役員選任規程』の一部改正について

地区における定数内訳の廃止である旨が説明され、可決決定。

4、『コンプライアンスマニュアル』の一部改正について

J A 広域ヘルプラインから全国J A ヘルプラインへ変更となった事に伴う所要の整備である旨が説明され、可決決定。

5、経済センター合理化に伴う関係諸規程類の一部改正について

令和4年11月の経済センター合理化に伴う所要の改正である旨が説明され、可決決定。

6、令和4年度年末手当(賞与)の支給について

令和4年度事業実績見込み及び令和4年度年末手当は2・1カ月分として12月9日に支給する旨が説明され、可決決定。

●報告事項

1、令和4年度 1 統括支店1 協同活動実施報告

2、篠路駅東口土地区画整理事業における仮換地決定報告

3、令和4年9月期半期ディスクロージャー誌について

4、10月末財務状況報告

5、10月末組合員加入・脱退状況

6、11月の動静と12月の予定について

7、JAさっぽろ・JAいしかり合併推進委員会第4回会議報告について

(閉会・午後2時44分)

南地区において役員推薦委員と総代の定数に内訳が設定されているが、他地区や現状を鑑み、内訳による定数を廃止し、地区一つの定数に整備する旨が説明され、可決決定。

2、『(定款附属書の2)総代選挙規程』の一部改正について

南地区において役員推薦委員と総代の定数に内訳が設定されているが、他地区や現状を鑑み、内訳による定数を廃止し、地区一つの定数に整備する旨が説明され、可決決定。

3、地区運営協力委員等の地区定数の内訳廃止について

議案第1号及び第2号で協議決定された南

第9回定例理事会

令和4年12月27日(火)午後2時00分より
本店・統括支店 各会議室(Web会議方式)において第9回定例理事会が開催された。

●協議事項

1、令和4年度仮決算監事監査回答書について

令和4年11月1日(火)から11月9日(水)まで(3日、5日、6日を除く)に実施された令和4年度仮決算定期監査および令和4年9月30日に行なわれた経済部・経済センタ―棚卸仮決算監査での「改善願いたい事項」に対する回答(案)が説明され、可決決定。

2、JAさっぽろ・JAいしかり合併経営計画書及び合併契約書並びに合併調印式について

前回資料「新JAプラン(たたき台)合併経営計画書(案)、合併契約書(写) 令和4年11月」からの変更点と追加された箇所を中心に説明された。その後、合併契約調印式の日時、場所、式次第等の詳細が説明され、可決決定。

3、第7回臨時総代会の開催日時等について

第7回臨時総代会を令和5年2月16日(木)10時から、共済ビル6階共済ホール(札幌市中央区北4条西1丁目)で開催する事が説明され、可決決定。

4、『定款』の一部変更について

JAいしかりとの合併に伴う所要の変更(地区、従たる事務所、出資持口最高限度、役員定数)である旨が説明され、可決決定。

5、『定款附属書の1』役員選任規程』の一部変更について

JAいしかりとの合併に伴う役員推薦委員の定数変更(篠路、北札幌、南、西町、手稲地区)並びに石狩地区の新設である旨が説明され、可決決定。

6、『定款附属書の2』総代選挙規程』の一部変更について

JAいしかりとの合併に伴う総代の定数変更(平岸、豊平地区以外の地区)並びに石狩地区の新設である旨が説明され、可決決定。

7、『農地信託規程』の一部変更について

JAいしかりとの合併に向けた変更、並びにJA北海道中央会の規程例に準じた文言等の変更をする旨が説明され、可決決定。

8、『土地改良業務規程』の一部変更について

JAいしかりとの合併に向けた所要の変更である旨が説明され、可決決定。

9、支店統合に伴う関係諸規程類の一部改正について

『信用事業方法書(為替取引)』、『信用事業方法書(金銭債権の取得又は譲渡及びこれに付帯する事業)』、『宅地等供給事業実施要領』の3規程類における、令和4年2月に支店統合により閉鎖となる事務所(菊水元町支店、

及び月寒支店)の削除である旨が説明され、可決決定。

10、『資産査定規程』の一部改正について

『職制規程』との整合性を図る事、並びに実際の自己査定作業における査定部署等について整理する内容が説明され、可決決定。

11、令和5年理事・監事報酬の役員報酬審議会への諮問について

令和5年7月から翌年6月までの理事報酬総額及び監事報酬総額は、理事が6,000万円の範囲内、監事が1,700万円の範囲内とする金額で諮問する事が説明された。その後、JAいしかりとの合併が成立した場合、JAいしかりから就任する役員について、令和5年10月から翌年6月までの理事報酬総額及び監事報酬総額は、理事が1,600万円の範囲内、監事が100万円の範囲内とする金額で諮問する事が併せて説明され、可決決定。

●報告事項

1、臨時地区別懇談会の開催日程について

2、地区別懇談会での質問・意見等の報告

3、組合員全戸訪問における質問・意見等の報告

4、広域役員選考委員・役員報酬審議委員・役員推薦委員の選任結果について

5、札幌市農業委員被推薦者の各地区からの選出結果について

- 6、令和4年度第4四半期余剰金等運用計画額及び運用方針について
- 7、令和4年度予約購買奨励金並びに肥料引取奨励金の交付について
- 8、11月末財務状況報告
- 9、11月末組合員加入・脱退状況
- 10、12月の動静と1月の予定について
- 11、JAさっぽろ・JAいしかり合併推進委員会第5回会議報告

(閉会・午後4時07分)

JAさっぽろDATA

令和4年12月末業務実績 令和4年11月末業務実績

| | | | |
|---------|------|--------------|--------------|
| 組合員数 | 正組合員 | 3,482名 | 3,481名 |
| | 准組合員 | 31,845名 | 31,805名 |
| 合計 | | 35,327名 | 35,286名 |
| 出資金残高 | | 67億6千万円 | 67億2千6百万円 |
| 販売取扱高 | | 14億5千6百万円 | 13億1千2百万円 |
| 購買供給高 | | 7億5千1百万円 | 6億8千1百万円 |
| 貯金残高 | | 3,446億6千2百万円 | 3,432億2千2百万円 |
| 融資残高 | | 867億7千6百万円 | 862億9千6百万円 |
| 共済保有高 | | 5,911億8千3百万円 | 5,912億3千7百万円 |
| 施設建設取扱高 | | 4億3千1百万円 | 2億9千8百万円 |
| 管理受託戸数 | | 4,609戸 | 4,603戸 |

サッポロさとらんどからのお知らせ

さとらんどでは様々な講座を実施中!

さっぽろ農学校入門コース

家庭菜園や市民農園などで野菜作りを楽しむための知識・技術を学びます。座学のみ全18回、36講義。

・日 時…4月9日(日)～8月27日(日)の日曜日に実施

9時30分～11時45分

・場 所…さとらんどセンター

・定 員…70名(15歳以上)

*多数の場合は抽選となります

・参加費…全期間 8,000円

・募集期間…2月10日(金)～3月15日(金)

・申し込み…3月15日(金) (必着) まで

に往復はがきをさとらんどまでお送りください。



※講義と実習の両面から実施する「さっぽろ農学校専修コース」も別途開講します。詳細は札幌市農業支援センター(0111-787-2220)にお問い合わせください。

市民農園の貸し出し

園内の1区画50㎡の畑を貸し出します。

・貸し出し期間…4月29日(土)～11月3日(金)・祝

6時00分～19時00分

・場 所…さとらんど施設内

・定 員…市内に居住する世帯かグループ196組

*多数の場合は抽選となります

・金 額…1区画11,000円

・申し込み…2月10日(金)からさとらんどセンターや区役所などで配布する募集案内をご覧の上、3月3日(金) (必着) までに往復はがきをさとらんどまでお送りください。

※詳細のお問い合わせはさとらんどへ直接ご連絡ください。

【お問い合わせ】

サッポロさとらんど

〒007-0880 札幌市東区丘珠町584番地2

電話(011) 787-0223